

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第47号（6. 2. 7） 公立保育所・公立幼稚園をこれ以上減らさず、希望する全ての人の 入所（入園）を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 神戸市が責任を持つ公立保育所・公立幼稚園をこれ以上減らさないこと。 2. 希望する全ての人が、希望する施設を利用できるようにすること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市保育運動連絡会 朝倉 ユミ</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2024年2月7日

神戸市会議長 様

神戸市保育運動連絡会  
朝倉ユミ  
神戸市中央区

電話

公立保育所・公立幼稚園をこれ以上減らさず、

希望するすべての人の入所（入園）を求める陳情書

私たちの会は、神戸市の公立保育所民営化に反対して2004年に発足しました。その後、神戸市に住むすべての子どもたちが健やかに成長できることを願い、運動をすすめてきました。2015年に子ども・子育て支援新制度がスタートしてから、児童福祉法24条1項の自治体が責任をもつ保育所、直接契約の認定こども園・今でも新制度に入らない公立幼稚園や私立幼稚園もあります。他にも地域型保育事業として、小規模保育・家庭的保育・事業所内保育・居宅訪問型保育など多様化し、施設間格差が問題になっています。また、2023年4月1日現在「入所希望で入所できていない児童」は1,006人となっていますが、少子化や在籍数を理由に、公立保育所や公立幼稚園がどんどん減らされていくことには納得がいきません。

11月17日の第1回子ども子育て会議では、はじめて市民委員として出席された方から「保育料が3歳児以上無償化になっても、保育料以外の徴収金が増えました」と発言がありました。もちろん施設側は説明もして重要事項説明書に保護者もサインをしていると思いますが、決して納得しているという発言ではないと思います。明石市では保育料以外の徴収金を一覧にしてホームページで公開し、神戸市ではそれぞれの施設のホームページを開いていくしかありません。最近ではそのホームページにも掲載がなく「園に直接問い合わせてください」というところが多いです。また願書1部「500円」などと掲載されている施設があることには驚きました。

明石市では、待機児童解消のため公立幼稚園の充実がすすみ全園で3歳児保育や給食の実施が取り入れられました。神戸市では、公立保育所の枠拡大での詰め込み、短時間パートの増員、公立幼稚園の9園閉園・3歳児保育実施も全体の9園のみなど、多くの問題があります。

神戸市の教育・保育の水準を表す大切な公立幼稚園・保育所を減らさず、保護者が希望する教育・保育の利用実現を願い、以下のことを陳情します。

陳情項目)

- ① 自治体が責任を持つ公立保育所・公立幼稚園をこれ以上、減らさないでください。
- ② 希望するすべての人が希望する施設を利用できるようにしてください。

以上